

部局名	教育委員会	所属名	少年自然の家	所属長名	佐藤 雅英	電 話	488-6538
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3480		事務事業名称	少年自然の家維持管理事業					短縮コード	経常	3480	臨時	3481
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	少年自然の家運営費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市少年自然の家設置条例，八千代市少年自然の家管理規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和４５年より，文部省（現文部科学省）施策として，補助金の交付により，少年の健全育成のための社会教育施設として，昭和４９年に開所。快適で利用しやすい施設として運営するため，施設の修繕，清掃，警備，設備の保守等の各種業務を委託し，維持管理を行う。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
昭和４９年開所時期に比べ，市内全体の自然環境が減少しつつあり，自然環境に恵まれた少年自然の家で，小・中学生が自然探究や野外体験を集団で行うことにより情操や社会性を培うことは大切なことである。今後，健全な少年の育成には少年自然の家の必要性が高まってくる。このような状況下開所以来３４年経過する施設の老朽化に対応し，施設・設備の安全性確保と利便性の維持・向上を計画的に進めていくことが重要な課題になってくる。					大項目（節）	02	生涯学習						
					中 項 目	02	社会教育						
					小項目（施策）	02	社会教育施設の整備						
					細 項 目	02	その他の社会教育施設の整備						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成21年4月 ～ 平成22年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	少年自然の家施設・設備の維持管理							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 少年自然の家施設・設備の維持管理							
	※平成22年度に計画していること： 少年自然の家施設・設備の維持管理							
意図 （何を狙っているのか）	少年自然の家の利用者に「安全・安心・快適」な施設環境を提供するために，適切な施設設備の保守点検と維持管理を行う。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	20年度	21年度		22年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	建物の面積	㎡	3,490	3,490	3,490	3,490	
	指標2	借地の面積	坪	6,819	6,819	6,819	6,819	
	指標3	市有地の面積	㎡	3,905	3,905	3,905	3,905	
活動指標	指標1	修繕件数	件	7	6	11	5	
	指標2	工事件数	件	1	0	1	2	
	指標3							
成果指標	指標1	利用者の満足度	%	100	100	100	100	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3480	事務事業名称	少年自然の家維持管理事業				所属名	少年自然の家
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			少年自然の家の維持・管理は適切に行っているので、このまま継続して行っていきたい。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			施設の老朽化に伴い、修繕箇所の増加が見込まれる。特に,アスレチック場の遊具の新設を求める声が利用団体から数多く聞かれる。また,導入から３６年が過ぎようとしているプラネタリウム機器は、部品の調達も難しくなり修繕箇所も多く維持管理にかかる費用も増えている。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
・ 植物園等施設内の自然環境がよく整備されており季節の野草を楽しむことができる。（学校・市民） ・ 館内の清掃が行き届いており施設が気持ちよく利用できる。（学校・市民） ・ アスレチック場の遊具を新しく交換できないか。（学校・市民・議員） ・ プラネタリウム投影機が古くなっているが機器更新の予定はあるか？学校の生徒や市民も楽しみにして いるので適切な対応をしてほしい。（議員） ・ 施設設備の老朽化に対し計画的な修繕計画を進める。（議員） ・ 車椅子の児童への対応としてエレベータの設置予定はないのか。（学校・市民）	

所属長コメント	設置目的「自然の探究を行いつつ協力・規律・奉仕の精神を培い、豊かな人間関係を深めること。」について、市内小中学校のセカンドスクールとして適切な利用をすることによって、その目的を達成するとともに学校教育に大きく貢献することができた。また、一般市民に公開しているプラネタリウム，植物観察園も好評であり，市民の自然環境への興味関心を高めるために成果をあげている。今後，プラネタリウム機器更新，アスレチック遊具の交換，建物防水工事，耐震改修工事等，計画的に進めることが必要である。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☒ 現状のまま継続		